

事務局からのお願い

「『研究通信』の編集の方針がマンネリ化している」とのご批判が会員から出されています。

かつての『通信』を見てみると、そこには今日のようなパターン化した編集方針といったものは見受けられず、毎回毎回事務局の自由な編集方針（そういうものがあつたかどうか分かりませんが）のもとに会員の様々な意見や主張が多様な形で盛られており、とてもスマートとは言えませんが『通信』を変化に富んだ面白い読物にしているようです。そして、そのことがまた村研の自由で活気にみちた雰囲気を想像させてくれるようにも感じられます。

そうした昔の『通信』に較べると、近年の『通信』は、たしかに真面目で安心して手にすることはできますが、逆にそのことが事務的でどことなく冷たい感じを与える結果になっているという面がないかもしれません。

この辺で、編集の仕方に一工夫することも必要かもしません。と、言っても、この事務局の力だけでそれが簡単にできるとは考えられませんので、会員諸賢のお知恵を拝借いたしたいと存じます。つきましては、これから『通信』の編集のあり方についてのご意見やご要望を手務局宛にお寄せいただきたくお願ひいたします。

また、『通信』の内容を変化に富み充実したものにするために、会員の皆様の投稿を募集いたします。村落社会研究会の運営についてのご意見ご要望、会員の皆様の研究動向や近況・小論・雑感など内容はとくに問いませんので、積極的に事務局まで原稿をお寄せいただきたいと存じます。